



令和2年(2020年)

2月28日(金)

発行所

島根日日新聞社

〒693-0001 出雲市今市町743-22

編集 (0853) 23-6760  
営業 (0853) 23-6777  
FAX (0853) 24-3530  
メール henshu@shimaneichinichi.co.jp

松江 TEL (0852) 31-1041  
FAX (0852) 31-9205

雲南 TEL (0854) 45-3991  
FAX (0854) 45-3993

大田 TEL (0854) 82-7388  
FAX (0854) 82-7366

東京 TEL (03) 3705-9393  
FAX (03) 6412-7661

LIVING SHIMANE  
月刊無料情報紙  
リビングしまね



出雲・松江・雲南・大田  
市内にて設置中!

島大医学部附属病院

# 3月から女性アスリート外来

## 3科2部連携で対応

島根大学医学部附属病院に3月1日から「女性アスリート外来」が設けられる。東京オリパラなどを契機とした、女性アスリートの増加を背景に、女性アスリートが陥りやすい障害に対応すると同時に、健康で長期的に高い競技力を維持できるように、総合的な支援を行うのが目的。



「利用可能エネルギー不足」「無月経」「骨粗しょう症」が女性アスリートが陥りやすい3大障害で、女性アスリート三主徴と言われる。同病院によると、運動によるエネルギー消費量に対して、食事などによるエネルギー摂取量が不足した状態が続くと、卵巣を刺激する脳からのホルモン分泌が低下し無月経となり、正常に女性ホルモンが分泌されず女性器の発育を妨げるばかりか、骨代謝にも影響を及ぼす。

その結果、思春期の若い女性であっても骨粗しょう症となることも珍しくなく、運動負荷

による疲労骨折をきたす危険性が高まる。このような栄養不足で不健康な状態ではアスリートとしてパフォーマンスが十分に発揮できない。

同病院は、疲労骨折に対しては整形外科、無月経に対しては婦人科、骨粗しょう症は内分泌代謝内科が対応し、低栄養は栄養部

が、アスレチックリハビリテーションは理学療法部が担うことで、

女性アスリートが最大限のパフォーマンスを発揮出来る体制をとる。整形外科の門脇俊助教は「女性アスリートの三主徴はそれぞれの発症が相互に関連しているため各診療科が協力して多角的にケア

する必要がある。そこで大病院の強みを生かし、疲労骨折や無月経で悩む女性アスリート(特に思春期の学生)の患者さんご紹介したければ」と話している。

島根大学医学部附属病院